

安全対策連絡協議会

2023年3月23日
在ハンブルク日本国総領事館

1 防災・危険情報

当館管轄4州（ハンブルク（HH）州、シュレスビヒ・ホルシュタイン（SH）州、ニーダーザクセン（NI）州、ブレーメン（HB）州）の防災対策は、州内務省防災市民保護局が中核となり、非常事態の際は危機管理本部を設置し、警察、消防、連邦水路庁、独連邦軍等と連携して対応しています。

各種警報は、州内務省ホームページ、各種メディア、警察による広報活動、警告アプリ（[KATWARN](#)、[NINA](#)）等により周知されます。また、警告アプリは、**無差別襲撃事件など生命の危険に係る警告も発せられます。**

各州内務省防災関連ホームページ：[HH州](#)、[SH州](#)、[NI州](#)、[HB州](#)
連邦市民保護災害支援局[ホームページ](#)（ブラウザで警告情報を閲覧可能）

< ハザードマップ >

当館管轄各州では、過去の水害の経験から、浸水危険地域が特定されており、それら地域に関する防災マップが整備されています。

また、避難要領や平素における防災の備えに関する情報も、市民保護・災害支援を担当する[連邦事務局のホームページ](#)において記載されています。

各州ハザードマップ：[HH州](#)、[SH州](#)、[NI州](#)、[HB州](#)



< 防災・危険情報通知アプリ >

災害警告アプリの主要なものとして、[KATWARN](#)、[NINA](#)があります。これらのアプリには、ドイツ全土における災害や危険情報が集約されており、利用者が登録した地域や位置に基づき、災害や生命の危険に係る警告等の具体的情報やその対応について確認できます。

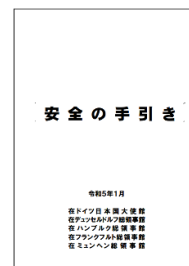


ドイツ安全対策基礎データ

緊急事態に備えて、緊急時の連絡先、防犯対策等の情報について、事前に把握しておくことは非常に重要です。外務省ホームページ：[ドイツの安全対策基礎データ](#)をご確認ください。

安全の手引き

緊急事態に備えて、旅券、現金・貴重品、携行品、自動車等を日頃から整備しておくことが大切です。[安全の手引き](#)には、在留邦人用の緊急事態対処マニュアルのほかに防犯対策の情報等が幅広くまとめられています。



2 在留届（情報更新のお願い）

在留届の滞在期間をご確認ください！！

滞在期間が**超過・未記入**の方が多く見受けられます。[滞在期間の更新](#)をお願いいたします（オンライン在留届からアクセスし滞在期間の欄へ期日の入力をお願いいたします）。

「在留届」の提出・更新はオンラインでご利用いただけます。



※ 在留届に登録されているメールに対し、定期的に情報更新を依頼するメールが送信されます（2022年4月から）。情報更新をされずに在留届確認ができないまま1年が経過し、その後、在留届確認ができない状況が続くと、当館から自動的に転出される対象となります。